

令和4年度 高野町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の実施状況及び効果検証シート

No	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					実施内容	実績及び成果 (可能な限り定量的な数値で表示)	評価・検証・課題等
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他			
合計						72,542	3,287	63,719	0	5,536			
1	燃料費等臨時特別支援金給付事業	企画公室	<p>① 新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が町民にも及んでいることに加え、最近の原油価格及び生活に必要な様々な製品等が高騰し、住民の生活を圧迫している。こうした状況を踏まえ、生活用品等の取り扱いする商店が周辺市町に比べ極端にすくないことや、高野山地区以外の周辺集落においては商店がなく町内で使用できる地域振興券を発行しても生活支援としての効果が期待できないことから、簡素かつ迅速に家計への負担軽減を図るため、ガソリン、灯油、軽油、ガス料金、電気料金等の一部を助成し、町民の経済的負担の軽減を行った。</p> <p>② 生活支援緊急対策給付金(燃料費等の定額助成) 1人当たり10千円×1,830人=18,300千円 住民税非課税世帯世帯員加算給付 1人当たり15千円×709人=10,635千円 給付事業に要する事務費 2,300千円 需用費(消耗品費 15千円、印刷製本費 165千円) 役務費(郵送料 264千円、振込手数料 151千円) 委託料(システム改修委託料 1,705千円)</p> <p>③ 給付実績者数 2,539人(給付率92.6%)</p>	R4.7.1	R5.3.31	31,235	0	31,235	0	0	<p>支給開始日：R4.7.1 支給期間：R4.7.1～R5.2.28</p> <p>基準日における住民に支給。 生活支援緊急対策給付金(燃料費等の定額助成) 1人当たり10千円×1,830人=18,300千円 住民税非課税世帯世帯員加算給付 1人当たり15千円×709人=10,635千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が住民にも及んでいることに加え、最近の原油価格の高騰に対して燃料費等の定額助成を行い、町民の経済的負担を軽減した。 また、アンケート調査の結果全体の89.5%が非常に役に立った、役に立ったと評価された。</p> <p>給付率 92.6% (令和5年3月31日 現在)</p>	<p>【評価・検証】 対象者の92.6%の住民に給付できたことや、アンケート調査の結果全体の89.5%が交付金が役立てられたとの結果となった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。</p> <p>【課題と対応】 高齢者の占める割合が高い本町にとって、申請内容を理解していただくのに苦慮したことや、実際に郵送による申請では、添付書類不足が多数あり、申請のやり直し等の処理が多かった。 ⇒今後同様の事業を実施する場合は、申請書を分かりやすく工夫することや各地域で出向き臨時の申請受付所の開設等検討していく予定。</p>
2	指定ごみ袋無料配布事業	生活環境課	<p>① 新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が町民にも及んでいることに加え、最近の原油価格及び生活に必要な様々な製品等の高騰状況を踏まえ、町民生活の維持に必要な経済的支援として、住民1人に対して、指定ゴミ袋(20枚)の無料配布した。</p> <p>② 住民1人あたり20枚を無料配布に係る費用。 需用費(消耗品費 3,511千円) (印刷製本費 75千円) 役務費(手数料 124千円)</p> <p>③ 配布実績数 2,518人(老人ホーム等の対象者は除く)</p>	R4.7.1	R4.10.31	3,711	0	3,711	0	0	<p>受付期間：R4.7.1～R4.10.31 住民1人あたり20枚を無料配布</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が町民にも及んでいることに加え、最近の原油価格高騰していることから、町民の経済的負担を軽減した。</p> <p>引換率 89.0% (令和4年10月31日 現在)</p>	<p>【評価・検証】 対象者の89.0%の住民が引換したことによって、一定の効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。</p> <p>【課題と対応】 経済的負担を軽減を目的に実施したが、ごみの減量化と反するといった問題もある。 ⇒経済的負担を軽減には効果があることから、分別処理の徹底を推進し適正なごみ減量化も同時に推進する。</p>
3	高野町社会福祉事業者物価高騰対策支援事業	福祉保健課	<p>① コロナ禍において原油価格や電力・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた事業者の負担の軽減を図り、急激な価格転嫁やサービスの縮小により利用者負担の増加を抑えるため、介護施設等の事業者に対し、支援金を交付し、サービスの維持と事業者の継続を支援した。</p> <p>② 社会福祉事業者物価高騰対策支援金 負担金、補助及び交付金(支援金 5,490千円) 電気料金高騰分 2事業所 2,740千円 燃料費高騰分 3事業所 780千円 食料費高騰分 1事業所 1,970千円</p> <p>④ 町内に事業所を有する福祉事業所 3事業所(R4.4.1)</p>	R4.12.16	R5.3.31	5,490	0	5,490	0	0	<p>町内3事業者に対して支援金を支給した。</p>	<p>コロナ禍において原油価格や電力・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた事業者の負担の軽減を図り、急激な価格転嫁やサービスの縮小により利用者負担の増加を抑えるため、介護施設等の事業者に対し、支援金を交付し、サービスの維持と事業者の継続を支援した結果、サービスの維持や価格転嫁による利用者負担を抑制できた。</p> <p>町内3事業者 支援金 5,490千円</p>	<p>【評価・検証】 事業者の事業継続及び利用者へのサービス維持・価格転嫁が無かった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。</p> <p>【課題と対応】 特になし。</p>
4	低燃費性タイヤ購入支援事業	生活環境課	<p>① コロナ禍により、原油価格や物価の高騰の影響を受ける中、本町のような降雪地域に所在する集落等では、日常生活の移動手段に車を使用することが必須であるため、これからの冬季に向けて町内の店舗で冬用タイヤを購入する費用の一部を助成し、町民の生活を支援した。</p> <p>② 低燃費性タイヤ等スタッドレスタイヤ等購入支援補助金 負担金、補助及び交付金(補助金 1,162千円) 普通・小型自動車、軽自動車 上限8,000円 149件=1,162千円</p> <p>③ 町内の自家用自動車等の所有者又は使用者 149件(申請率60%)</p>	R4.12.16	R5.3.31	1,162	0	1,162	0	0	<p>受付期間：R4.12.16～R5.2.28 1世帯につき1回申請 上限8,000円</p>	<p>コロナ禍により、原油価格や物価の高騰の影響を受ける中、本町のような降雪地域に所在する集落等では、日常生活の移動手段に車を使用することが必須であるため、これからの冬季に向けて町内の店舗で冬用タイヤを購入する費用の一部を助成し、町民の生活を支援できた。</p> <p>149件(申請率60%) 1,162千円</p>	<p>【評価・検証】 本町のような生活と車が欠かせない地域では、一定の効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。</p> <p>【課題と対応】 事業化の時期や広報の方法等を検討する必要がある。 ⇒事業化する場合は、事前に広報活動を入念にする。</p>

令和4年度 高野町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の実施状況及び効果検証シート

No	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A				実施内容	実績及び成果 (可能な限り定量的な数値で表示)	評価・検証・課題等	
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額				E その他
5	バス事業者緊急支援事業	企画公室	①コロナ禍により、公共交通利用者の減少に伴う運賃収入の落ち込みが深刻化している状況において、燃料価格高騰に起因する経費増で更なる負担が強い公共交通事業者を支援し、町民等の移動手段の維持確保を図った。 ②公共交通事業者緊急支援補助金 負担金、補助及び交付金(補助金 3,018千円) ④町内に本社及び営業所を有し、道路運送法第3条第1項イに該当する者(1事業者)	R4.12.16	R5.3.31	3,016	0	3,016	0	0	令和2年度と令和4年度の燃料経費の差額を町内公共交通事業者へ給付し、住民の移動手段の確保維持を図った。 1事業者 3,016千円	コロナ禍により、公共交通利用者の減少に伴う運賃収入の落ち込みが深刻化している状況において、燃料価格高騰に起因する経費増で更なる負担が強い公共交通事業者を支援し、町民等の移動手段の維持確保した。 移動手段確保率 100%	【評価・検証】 町民の移動手段である公共交通の維持確保に一定の効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。
6	子どもの学び応援事業	教育委員会	①コロナ禍における物価高騰等により、経済的・精神的な負担が続いている中でも子ども達が豊かな教養をたくむことができるよう、18歳以下の子どもに、自宅学習等のできる図書カードを配布し、学びを支援した。 ②図書カード(1人5千円) 対象経費 1,437千円 負担金、補助及び交付金 1,380千円 図書カード 276人×5,000円=1,380千円 役務費(郵送料) 簡易書留(定形外25g以下) 57千円 ③令和4年10月1日時点で住民基本台帳に登録のある次の者 ・平成16年4月2日以降に生まれた者 ・来年2月28日までに出生届が提出された者 276人	R4.12.16	R5.3.31	1,437	0	1,437	0	0	令和4年10月1日時点で住民基本台帳に登録のある次の者 ・平成16年4月2日以降に生まれた者 ・来年2月28日までに出生届が提出された者 1人あたり5,000円の図書カード 276人	コロナ禍における物価高騰等により、経済的・精神的な負担が続いている中でも子ども達が豊かな教養をたくむことができるよう、18歳以下の子どもに、自宅学習等のできる図書カードを配布し、学びを支援した。 申請率 100%	【評価・検証】 子どもたちへの学び機会を提供し、自宅学習での効果はあった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。
7	花坂多目的集会所トイレ改修事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、トイレの床に付着したウイルスを含む排泄物が利用者を介して拡散するのを防止すると共に、便に触れる可能性を下げるため、町内の集会所の和式トイレを温水洗浄便座機能付きトイレに改修し新型コロナウイルス感染症対策を実施した。 ②感染防止のためトイレ改修の工事費 工事請負費(花坂集会所トイレ改修工事費 2,500千円) ③花坂集会所トイレ	R4.12.16	R5.3.31	2,500	0	2,500	0	0	花坂地区の集会所のトイレを改修することによって、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。 トイレ便器改修 2箇所	町民が利用する集会所のトイレを改修することによって、町民の集い時等に感染症対策して期待できる。 対象地区でのクラスター発生0%(R5.3.31)	【評価・検証】 町内住民の交流の場である集会所の感染対策に効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。
8	冬のあったか応援給油券配布事業	観光振興課	①コロナ禍により、原油価格の高騰により、灯油などの石油製品の販売価格が大幅に引き上げられている現状を踏まえ、これからの冬期間に町内の店舗で使用できる灯油等の燃料券の配布を行い、冬期間の生活における高騰対策を図るため支援した。 ②高野町灯油等購入助成券配布 対象経費 7,703千円 負担金及び補助金及び交付金 配布枚数 1,533世帯 7,030千円 需要費(印刷製本費) 44千円 給油券印刷 1,558世帯×5枚綴 役務費(郵送料) 簡易書留(定型50g以下) 629千円 ③町民 1,533世帯	R4.12.16	R5.3.31	7,703	0	7,703	0	0	引換期間:R4.12.1~R5.2.28 1世帯につき 給油券1,000円×5枚綴を配布 1,533世帯	コロナ禍により、原油価格の高騰により、灯油などの石油製品の販売価格が大幅に引き上げられている現状を踏まえ、これからの冬期間に町内の店舗で使用できる灯油等の燃料券の配布を行い、冬期間の生活における高騰対策を図るため支援した。 配布:1,533世帯 7,665千円 換金: 7,030千円 換金率:91.7%	【評価・検証】 燃料価格高騰により給油券の配布は、住民の経済的負担を軽減に寄与した。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。

令和4年度 高野町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の実施状況及び効果検証シート

No	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A				実施内容	実績及び成果 (可能な限り定量的な数値で表示)	評価・検証・課題等	
						総事業費	B 国庫補助額	C コロナ交付金 充当額	D 起債額				E その他
9	肥料高騰緊急対策支援事業	観光振興課	①コロナ禍における、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により科学肥料原料の国際価格が大きく上昇し、肥料価格が高騰しており、肥料コスト上昇分の購入費用の一部を支援することで、農業経営への影響を緩和した。 ②肥料高騰緊急対策支援補助金 負担金、補助及び交付金 補助金 321千円 ④町内農業者(14件)	R4.12.1	R5.2.28	321	0	321	0	0	申請期間：R4.12.1～R5.2.28 前年から増加分の8割を補助 町内農家 14件申請	目標件数を大幅に下回ったが、実際は、他の補助事業で支援を受けている者が大半であった。なお、他の補助事業等で支援を受けられず、高騰に影響された農家に対しては支援ができ、事業継続を維持できた。 町内農家 14件 申請率 56.3%	【評価・検証】 他の事業(JA事業)で、同様の補助制度があり、申請条件に他の補助金を受けていないことが条件となっていたことや、一部の農家では、価格高騰を予期し事前に大量購入があったこと等が申請率の低下につながっていると評価しているが、申請した農家には価格高騰による農業経営悪化には一定の効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 同様の事業があったことによる申請率低下があった。 →事業を実施する場合は、関係機関との連携を密にして、より効果的な事業実施に取り組む。
10	訪日外国人旅行者環境整備緊急対策事業費補助金	観光振興課	①新型コロナウイルス感染症の長期化により、観光客が激減したことに加え、感染を恐れ自家用車で訪れる方が増加し、紅葉シーズン等、例年ハイシーズンに町内で慢性的に発生していた交通渋滞を解消する一助とするため、町の入口付近に臨時駐車場設営し、街中へのシャトルバスを運行することで、街中での周遊を誘導することにより疲弊した町内の土産物店等の事業所の活性化に寄与し、今後の渋滞解消やアフターコロナを見据えた質の高い観光地として満足度向上に向けた取組の一環として実施した。 ②交通実証実験に要する経費 委託料(臨時シャトルバス) 979千円 (警備委託) 5,632千円 ③高野町	R4.10.12	R5.3.31	6,611	3,287	3,288	0	36	臨時駐車場 2箇所解説 臨時シャトルバス運行	交通実証実験の満足度83% 駐車場利用者数延べ740台、1,689名利用	【評価・検証】 町内における渋滞発生がなかったことや、観光客が増加傾向にあったこと等から一定の効果があった。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。
11	消防職員感染防止対策事業	消防本部	①消防庁舎の更衣室を分散整備するとともに、救急活動で、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、飛沫感染などから職員の感染リスクを軽減し、消防・救急活動業務の機能不全を防ぐために実施する。 ②消防庁舎の更衣室設置する経費 更衣室備品購入費 78千円 女子更衣室改修工事費 1,249千円 ④高野町	R5.1.27	R5.3.31	1,326	0	1,302	0	24	消防署職員の環境改善を図り飛沫感染などからの感染リスクの低減対策 更衣室改修	職員の更衣室を分散することで、感染リスクを低減し、消防機能の低下等を軽減することができた。 機能不全率0% クラスター発生率0%	【評価・検証】 消防署の環境改善を図り飛沫感染などの感染リスクの低減された。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特になし。
12	コンビニ交付サービス構築事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、役場庁舎内の密を防ぐため、住民票等をマイナンバーカードを用いてコンビニエンスストアで交付可能とするようシステムを構築する。 ②委託料 コンビニ交付システム構築費 8,030千円 ③高野町	R4.6.1	R3.3.31	8,030	0	2,554	0	5,476	コンビニ交付サービス開始(R5.2.1)	システムを導入することで、窓口での対応時間を短縮することで、感染リスクを低減することができた。 導入開始時期が年度末を予定していたことから、目標数を大きく上回っており、住民の利便性向上に大きく寄与できた。 コンビニ交付サービス利用件数 32件	【評価・検証】 コンビニ交付サービスを実施することで、住民の利便性向上と感染対策に寄与した。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題と対応】 特設課題等はなかった。